

事業所名

旭川児童院通園センター

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

3月

28日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|-----|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | 敬天愛人一生命の尊厳を大切に、すべての人が共生できる人間尊重の社会の実現を目指します。 | | | | | |
| 支援方針 | | 主に重症心身障害児を対象としています。利用児の重症度や特性、年齢を考慮し、小集団での活動および個別活動を提供します。 | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 30分 | 15時 | 30分 | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 支援時間を10：00～15：00までとし、生活全般の支援を行います。看護師が常駐し、必要な医療的ケアを行います。生活リズム、食事、排泄、身の回りのことなど、個々の発達状況や特性に合わせて取り組みます。摂食状況に合った形態の給食（ペースト、刻み、やわらか）や食具を提供します。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動遊具（トランポリン、スイング、ボディボールなど）を使って、身体機能、感覚を養います。スムーズ活動を通して様々な刺激（光、音、香り、振動）を味わい、心地よく、楽しめることを増やしていきます。体操を通して、大人と楽しく触れ合いながら身体感覚を養います。適切な姿勢変換を行い、身体を伸ばしたり、排痰を促します。制作活動や楽器演奏を通して、楽しみながら手指の操作性を高めていきます。 | | | | | |
| | 認知・行動 | 個別活動の中で、学習課題に取り組みます。学校の教育目標をおうかがいし、学習のフォローアップができるよう配慮します。季節ならではの活動（戸外で植物に触れる、正月遊びなど）を提供します。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 個別の場面で、子どもさんがしたいことを選び、「〇〇がしたい」「もう1回」という気持ちの表出を促します。個々に合ったコミュニケーション手段の獲得を目指します（目線、表情、カード、コミュニケーション機器）。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 生活介護の方と合同で集団活動（ゲーム、音楽、読み聞かせ、お楽しみ活動）を提供します。対戦や合奏を通して、仲間を意識する体験をします。（学年に応じて）係活動を担い、社会参加の経験を積めるよう支援します。役割を果たし、称賛されることで意欲、達成感を持てるようにします。 | | | | | |
| 家族支援 | | 送迎時、連絡帳で子どもさんの様子を具体的にお伝えします。ご家庭での困りごとや気になることについて、随時ご相談に応じます。相談内容に応じて、適切な職種の職員が対応します。 | | | 移行支援 | | 子どもさんの発達状況、特性を整理して保護者にお伝えし、進路についてご相談に応じます。移行先に情報提供を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | | 学校や並行利用の事業所、医療、他の福祉サービスと情報共有します。 | | | 職員の質の向上 | | 研修参加を推奨し、様々な障害特性に応じて支援できる職員を育成します。 |
| 主な行事等 | | 家族会活動（児発、生活介護と合同）、誕生日会、季節の行事、療育・医療センターまつり | | | | | |

事業所名

旭川児童院通園センター

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

28日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|-------|-----|---------|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 敬天愛人一生命の尊厳を大切に、すべての人が共生できる人間尊重の社会の実現を目指します。 | | | | | |
| 支援方針 | | 主に重症心身障害児を対象とする児童発達支援センターとして、重症心身障害児のみならず、肢体不自由児、重複障害児、医療的ケア児の発達支援を行います。利用児の重症度や特性、ニーズを考慮し、小集団での活動および個別活動を提供します。 | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 30分から | 15時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| | | 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 支援時間を10：00～15：00までとし、生活全般の支援を行います。看護師が常駐し、必要な医療的ケアを行います。生活リズム、食事、排泄、身の回りのことなど、個々の発達状況や特性に合わせて取り組みます。摂食状況に合った形態の給食（ペースト、刻み、やわらか）や食具を提供します。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動遊具（トランポリン、スイング、布ブランコ、バランスボール、トンネル、ロディなど）を使って、身体機能、感覚を養います。スヌーズレン活動を通して様々な刺激（光、音、香り、振動）を味わい、心地よく、楽しめることを増やしていきます。体操や身体遊びを通して、大人と楽しく触れ合いながら身体感覚を養います。適切な姿勢変換を行い、身体を伸ばしたり、排痰を促します。玩具の操作、制作活動、粘土遊びを通して、楽しみながら手指の操作性を高めていきます。 | | | | | |
| | 認知・行動 | 小集団活動を通して、周囲の状況に気づく力、見る・聞く力を養います。わかりやすい環境設定、一定の生活の流れを作り、見通しを持てるようにします。活動の始まりと終わりをわかりやすく知らせ、自主的、意欲的な活動参加を促します（♪はじまるよの歌が聞こえたら先生の方を見よう）。季節ならではの活動（戸外で植物に触れる、いもほりごっこなど）を提供します。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 実物、写真、イラストを提示しながら声かけし、言葉の理解を促します。遊びの場面で、子どもさんがしたいことを選び、「〇〇がしたい」「もう1回」という気持ちの表出を促します。個々に合ったコミュニケーション手段の獲得を目指します（目線、表情、カード、コミュニケーション機器）。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 個別活動の中で、大人とじっくりとかかわる経験をします。「安心」「楽しい」「うれしい」と感じられるようなかかわりを通して、人とかかわりたい思いを育てます。小集団の中で、お友達とやりとりする経験をします（交替で遊ぶ、物の受け渡しなど）。帰りの会の中で「その日できたこと、がんばったこと」をほめられる場面を設け、達成感を持てるようにします。 | | | | | |
| 家族支援 | | 送迎時、連絡帳で子どもさんの様子を具体的にお伝えします。ご家庭での困りごとや気になることについて、随時ご相談に応じます。相談内容に応じて、適切な職種の職員が対応します。 | | | 移行支援 | | 子どもさんの発達状況、特性を整理して保護者にお伝えし、進路についてご相談に応じます。就園、就学に向けて保護者と一緒にサポートブック作りを行います。就園、就学先に情報提供を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | | 並行利用の事業所や園、医療、他の福祉サービスと情報共有します。 | | | 職員の質の向上 | | 研修参加を推奨し、様々な障害特性に応じて支援できる職員を育成します。 |
| 主な行事等 | | 家族会活動（放デイ、生活介護と合同）、療育参観（随時）、誕生日会、季節の行事、療育・医療センターまつり、卒園式 | | | | | |